

ふくおか & MAFF

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

2023.8
Vol.50

2023年8月10日発行

Contents

- ➔ natural natural ～ オーガニック食品を店舗や宅配で提供～
- ➔ 三好食品工業株式会社（田川市）
- ➔ 「見たい！知りたい！九州農業2023」を公表しました

natural natural ～ オーガニック食品を店舗や宅配で提供～

みどりの食料システム戦略では、環境にやさしい持続可能な農産物の消費拡大を推進しています。株式会社ドリームグループが運営する「natural natural」では、オーガニック食品を店舗や宅配で提供しています。こだわりの農産物や生産者・消費者との関係など、お話を伺いました！

こだわりの農産物

有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培を行う生産者のこだわりのおいしい農産物を店舗や宅配で提供しています。また、地産地消にもこだわっており、ほとんど九州産です。野菜が一番おいしくて栄養たっぷりの旬の時期に、九州産の新鮮な野菜を食べて欲しいです！

生産者の顔が見える関係

ほとんどの農産物を生産者と直接取引しています。需要に応じてその都度、生産者から仕入れており、生産者の顔が見える関係性を大切にしています。宅配会員の中には、特定の生産者のファンという方もいます！



natural natural 長丘本店の店舗内
店舗内には、ラベルに生産者が明示された色とりどりの有機農産物等が並べられています。また、農産物以外にも、肉や魚、加工品、生活用品などオーガニックにこだわったものが販売されています。

お客様との交流

定期的に、店舗の前で生産者が、お客様と直接会話しながら、農産物を販売する場を設けています。また、コロナ禍前には、宅配会員が生産者の圃場で収穫体験などを行う生産者ツアーを企画していました。行動制限が緩和された今、会員の皆様から再開を期待されています。

お話を伺いました



株式会社ドリームグループ 会長室統括 萱田森人様（右）と商品企画部 井手三和様

農産物のことを知りたい！

農産物は価格や見た目で判断されやすいのですが、消費者の皆様には、なぜそのような価格や見た目になるのかなどを知ってほしいです。生産者との交流や店舗スタッフによる農産物の説明など、消費者の皆様への理解促進のために情報を発信していきます。

HPはこちら➔<https://www.sancyoku-club.com/>

週2回、店舗前で「めぐみの里の朝市」を行っています。安心・安全な農産物をお客様に直接販売しています！



八女・広川地域の生産者グループ「めぐみの里」の山下様

意見交換、ありがとうございました！



三好食品工業株式会社（田川市）

～「ふくよかまる」を使用した豆腐の製造～

福岡県が開発した大豆の新品種「ふくよかまる」は、令和4年度から一般栽培を開始し、同品種を使用した商品が開発されています。そこで、九州産大豆を使用した豆腐を製造している同社から、「ふくよかまる」を使用した豆腐などについて、お話を伺いました！

地産地消への思い

現在、豆腐に使う国産大豆は九州産のみです。以前は、コストや安定的な調達の面から北海道産の大豆も使っていましたが、十数年前から「地産地消」が注目されてきたことや「九州の田舎もんやけん、九州が好いとうけん、九州の大豆を使う！」という思いから、国産大豆を九州産に一本化しました。



三好代表取締役（右）と総務部佐藤様。
同社は、大正8年に創業、昭和54年に設立。
事業内容は、豆腐、油揚げ、大豆加工食品、こんにゃく、その他の製造販売・輸出入業。

同社HP：<https://www.we-love-tofu.com/>



ふくよかまる使用の豆腐

令和4年産の「ふくよかまる」を使用した豆腐も製造しています。「ふくよかまる」の普及はこれからなので、製造量は少ないですが、少しずつスーパーで販売しています。大豆自体が甘く濃厚だと、お客様からも高評価です！



オカラを詰めているフレコン。
オカラは飼料原料などに100%利用されるため、廃棄はゼロ。

意見交換、ありがとうございました！

▲「ふくよかまる」を使った商品。
左から、こたま豆腐（おぼろ豆腐）、
汲み出し豆腐（寄せ豆腐）

SDGsの取組

他社と連携して、これまで製造過程で崩れただけで廃棄せざるを得なかった豆腐と鶏肉、野菜を混ぜて「つみれ」を作り販売する予定です。また、大豆の絞りカスである「オカラ」は、畜産用飼料原料として販売するなど、SDGsに取り組んでいます。



「見たい！知りたいたい！九州農業2023」を公表しました



「見たい！知りたいたい！九州農業2023」は、九州農政局が管内各県における食料・農業・農村の現状、主要施策への取組状況や課題・最近の取組事例等を多くの方々に知っていただくためにまとめた報告書です。

今年の話は「変化する九州の食料生産と消費」です。世界情勢の不安定化などによる資材価格の高騰等、様々な課題に対応する九州の取組を、事例を交えながら紹介しています。

他にも、統計情報など、見たい！知りたいたい！情報を満載していますので、ぜひご覧ください！

詳細はこちら→https://www.maff.go.jp/kyusyu/kikaku/mirusiru_2023.html

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

